

講演会型・体験活動参加型（幼稚園）

学校名	大垣市立川並幼稚園
実施日時	平成28年7月20日(水)
会場	川並幼稚園
参加人数	園児53名、保護者53名
学習課題(分野)	親子防災教室
運営者の願い	東日本大震災はまだ記憶新しいが、今年はさらに熊本地震もあり、一層災害への備えが必要となっている。また、親子で参加し、子どもたちに「命の大切さ」を伝えていかなければならないと考え、企画した。

学習の内容

講師 遠藤 憲一 氏
(大垣消防組合 中消防署)

<保護者向け防災講話>

阪神淡路大震災、中越地震、東日本大震災、熊本地震など過去の震災から学んできたことを教えていただきました。

- ①家具の転倒防止
- ②就寝場所(生存スペース)確保
- ③建物の耐震化と不燃化

<親子DVD視聴>

♪♪ぐらぐらガタガタ、ぐらぐらガタガタ、自分のいのちは、自分で守ろう♪♪

アニメーションと音楽で楽しく防災学習ができました。園では年3回、命を守る訓練が行われているようですが、DVDの視聴が活きていくことと思いました。

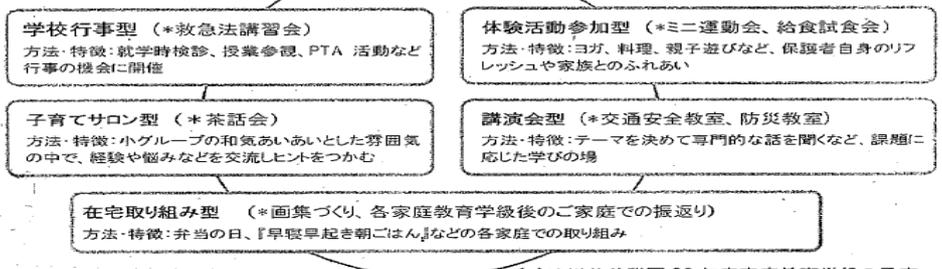
<バランスのよい運営で、学びの深まりが…>

防災講話後、下図を使って、平成28年度家庭教育学級の説明がありました。幼稚園・保育園は親子体験活動型に偏りがちですが、5つの学習形態がバランスよく取り入れられ、学びが膨らむ工夫がなされていました。



司会進行、講師紹介、諸連絡、在宅取組の説明等を学級長と役員で役割分担をして行き、スムーズに運営ができていた。また、パソコンが堪能な保護者が広報になり、お便りや資料を作成していた。役割を分担することは、ひとり分の負担軽減となるだけでなく、参画意識を高めるチャンスとなる。

家庭教育学級の学習形態



川並幼稚園 平成28年9月14日

第3回家庭教育学級 アンケート結果

アンケート回収数 29枚 (返くお墨 14枚 ・ 返くお墨5枚 ・ 未回収 10枚)

- 今回の防災教室は役に立つとお感じですか? (全てはまるものを○に付けてください)
 - 1) 役に立つ → 29人
 - 2) 少し役に立つ → 4人
 - 3) あまり役に立たない → 4人
 - 4) 役に立たない → 0人
 - ・ 未回答 → 1人
- 今回の防災教室の内容はいかがでしたでしょうか? (全てはまるものを○に付けてください)
 - 1) わかりやすかった → 21人
 - 2) どちらかといえばわかりやすかった → 8人
 - 3) どちらかといえばわかりにくかった → 4人
 - 4) わかりにくかった → 0人
 - 5) わからない → 0人
 - 6) わからない → 0人
 - 7) わからない → 0人
 - 8) わからない → 0人
 - 9) わからない → 0人
 - 10) わからない → 0人
 - 11) わからない → 0人
 - 12) わからない → 0人
 - 13) わからない → 0人
 - 14) わからない → 0人
 - 15) わからない → 0人
 - 16) わからない → 0人
 - 17) わからない → 0人
 - 18) わからない → 0人
 - 19) わからない → 0人
 - 20) わからない → 0人
 - 21) わからない → 0人
 - 22) わからない → 0人
 - 23) わからない → 0人
 - 24) わからない → 0人
 - 25) わからない → 0人
 - 26) わからない → 0人
 - 27) わからない → 0人
 - 28) わからない → 0人
 - 29) わからない → 0人
- ご家庭の防災への取り組み状況についてお聞きします。以下から対策をされていること、今後の防災教室をきっかけに要所みかみに取り組んだこと、今後対策実施の予定を教えてください。(全てはまるものを○に付けてください。複数回答可)

対策内容	実施済み	今後実施	実施予定
1 家具転倒防止(家具の固定)	8	6	9
2 避難場所の確保(避難場所の指定)	8	10	11
3 避難用品の準備(避難用品の準備)	7	3	17
4 防災グッズの準備(防災グッズの準備)	9	1	18
5 避難経路の確認(避難経路の確認)	12	7	12
7 家族の連絡方法(家族以外)	4	5	18

その他対策をされている(複数回答可)をお聞かせください。(自由回答)

8 避難場所、子供だけでおこなうように教えています。

9 子供の防災意識を高めるようにしています。

10 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

11 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

12 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

13 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

14 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

15 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

16 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

17 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

18 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

19 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

20 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

21 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

22 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

23 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

24 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

25 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

26 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

27 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

28 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

29 避難用品の準備(避難用品の準備)をすすめています。

<活動が広がる工夫>

今回の防災教室をきっかけに、各家庭でも夏休みに防災対策に取り組みました。すでに多くの家庭で対策がとられている項目もありますが、さらに1~3割の家庭で対策がとられたことが分かりました。こういった取組は、活動がその場限りにならないだけでなく、父親や家族も参加でき、親の学びを広げる工夫となります。



家庭教育学級を運営するにあたっての、運営者側の願いや構えがしっかりとしている。学びのある家庭教育学級となるよう年間を見通し、バランスよく学習内容や学習形態が配置されている。また、その回だけに終わらない工夫がすばらしい。